

遺失物管理システムは、事業者さまの課題を改善し
効率的な管理業務をサポートします。

遺失物管理に関する事業者さまの課題

警察届出の書類作成が煩雑

現物チェックに時間がかかる

現金の扱いなどが不安



拾得物の今の状況が
すぐに分からない

件数が多すぎて探すのに
時間がかかる



遺失物管理業務の効率UPをサポート

遺失物管理システムの特長



・拾得物の情報登録時、拾得場所や物品の種類を大／中／小分類に細かく設定することにより、問い合わせに対し遺失物の状態・特徴などが確認でき、素早く突き合わせ・回答が可能です。



・PC／タブレットから遺失物管理システムをご利用できます。
・一元管理により拠点間で拾得物情報の共有が可能です。
(グループ会社間の共有も可納)



・二次元コードによる**処理状況のステータス変更**が可能です。
・警察署への**届出帳票／届出データ**が簡単に作成できます。



・一定時間使用がない場合、設定により**自動ログアウト**されます。
・管理者による操作履歴の**ログ取得**が可能です。
・**ユーザーごと**に利用機能を**制限**することが可能です。

遺失物処理の流れイメージ

問い合わせ

遺失物受付／情報登録

警察受理



拾得物情報登録	拾得物情報検索
預り書出力	検索情報登録
情報修正	一括検索



遺失物管理センター

移送／受取処理	返還情報登録
移送一覧表	受領書出力
遺失物台帳	返還申出書出力
警察届出	返還通知書出力
警察届出一覧	警察返却



警察署

対象業種

対象業種に制限はなく、事業者さま側に合ったマスタを作成し利用可能です。
拾得場所の例：



商業施設



遊園地



交通機関

その他

・二次元コード機能

遺失物情報を登録後、物品に貼り付ける原票(遺失物切符)に二次元コードが出力されます。

【二次元コードの用途】

警察届出時や警察から返却された物件をまとめて処分する場合、ステータスの一括変更もできます。

・帳票出力機能

警察の届出様式に対応した帳票、届出データが作成できます。(警視庁など)

遺失物原票／台帳／物件一覧簿など遺失物業務に必要な帳票が作成できます。

・カメラ画像登録機能

WEBカメラを接続することで、画面から画像撮影・登録が可能です。

・ログ取得機能

管理者権限でデータの登録／更新／検索参照のログが取得できます。

・利用可能ブラウザ

Microsoft Edge／Google Chrome／Safari

導入方法

お客さま環境サーバへの導入や外部クラウドに構築など、ご要望に合った構成提案が可能です。

- Microsoft、Microsoft Edge は、Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- Google Chromeは、Google Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Safariは、Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- 記載の仕様は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

株式会社 日立製作所 社会システム事業部

■ 遺失物管理ソリューション

QRコードはこちら→

https://www.hitachi.co.jp/products/it/society/product_solution/mobility/traffic_lfx/

■ Webでのお問い合わせ <https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/society/general/form.jsp>

お問い合わせ件名：『交通分野に関するお問い合わせ』を選択ください。



※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

© Hitachi, Ltd. 2021. All rights reserved.